



小麦耕起前、草地更新、  
家まわりの頑固なスギナに高い評価。

非選択性茎葉処理除草剤

# 「タッチダウンIQ」

秋まき小麦や牧草地と水田畦畔分野等に幅広く普及開始(2006年)になった完成型グリホサート剤「タッチダウンIQ」。  
2009年3月4日に適用が拡大となりましたので、変更に関する作物について及び本製品の特徴等についてあらためてご紹介させていただきます。

## 特長

タッチダウンIQ(以下本剤)の有効成分であるグリホサート・カリウム塩は従来のグリホサート化合物に比べ、最も水溶性に優れる特徴を活かし、除草効果を示す活性成分であるグリホサート酸の含有量の高濃度化に成功した新しいグリホサート剤です。(図1参照)

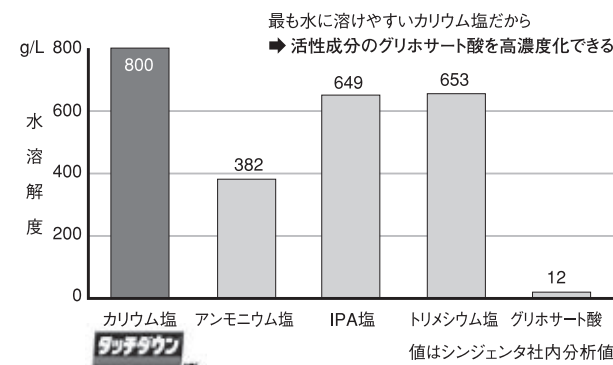
また、タッチダウンIQに採用されている界面活性剤は、より速やかに、より多くの有効成分が雑草体内へ移行することを実現するために、本剤のために選ばれた「拡張タイプ」と「浸透タイプ」を絶妙なバランスでブレンドした界面活性剤です。

(1) 拡張タイプは、雑草葉面上での薬液の濡れ性を高める効果に優れた「ネオン系」の界面活性剤です。表面張力を適度に緩めることで葉面上での拡張性を高め、薬剤と葉表面の接触面を最大化して、有効成分が確実に吸収される面積を確保します。

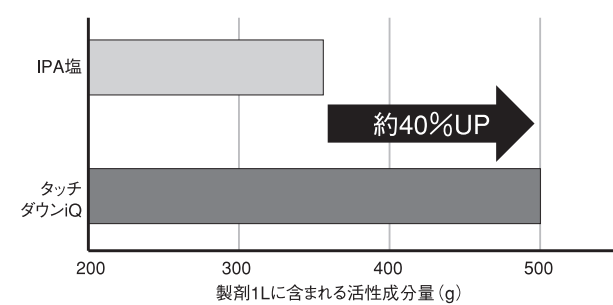
(2) 浸透タイプは、葉内部への有効成分の浸透を促進するカチオン系の界面活性剤です。表皮細胞(クチクラ層)を傷つけることなく、カチオン系の界面活性剤の特徴であるイオン吸着を利用して薬剤が雑草体内へ速やかに浸透することを助けます。

タッチダウンIQの独自界面活性剤の効果により、有効成分の雑草葉面上での濡れ性を高め、植物細胞内での浸透を妨げることになる植物細胞の破壊を引き起こすことがないため、有効成分を細胞の隅々まで、すばやく浸透させることで本剤の高い除草効果が実現します。

■図1:カリウム塩の水溶性



■図2:タッチダウンIQの活性成分量(グリホサート酸)



エンタージャパン株式会社

## タッチダウンIQの効果と安全性

本剤は、有効成分が速やかに雑草体内に取り込まれ、その後下部に移行した有効成分が地下茎や根系に対して確実な効果を発揮するので、頑固な多年生雑草であるスギナ、リードキヤナリ、グラスシバムギなどにも高い殺草力を示します。また、ヒレハリソウ(コンフリー)では、秋の25倍処理で、翌年の再生を著しく低下させる効果が確認されました。

本剤は、優れた水溶性性と独自界面活性剤の効果により、散布後速やかに雑草体内に有効成分が取り込まれるため、散布2時間後の降雨でも、その後の効果の完成に影響ありません。

人畜毒性については普通物相当で、有用生物への安全性も確認されています。また、土に接触すると土壌粒子などに吸着され、速やかに不活性化されますので、土壌や地下水を通じて近隣の有用植物へ影響を与えることは極めて少ない除草剤です。

## 適用作物と使用方法

本剤の作物登録は、現在水田作物、小麦、牧草、果樹、野菜等で、一般的には、1年生雑草は、250-500ml、多年生雑草では、500-1000ml、頑固なスギナ、コンフリーでは2000mlを50Lの水で希釈して10アール当り散布します。



適用雑草名と使用方法(変更に関する主な作物についてのみ抜粋)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
野菜類 (えだまめ、たらのき、はくさい、キャベツ、レタス、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、にんじん、だいこん、はつかだいこん、アスパラガスを除く)	—	一年生雑草	耕起7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)	250~500mL/10a	25~50L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
			耕起又は定植7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)					3回以内
			耕起又はは種7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)					1回
			耕起又はは種7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)					2回以内
			は種後出芽前 (雑草生育期:草丈30cm以下)	3回以内				
			畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで	1回				
			耕起7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)	3回以内				
			耕起又はは種7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)	2回以内				
			は種後出芽前 (雑草生育期:草丈30cm以下)	2回以内				
			畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで	2回以内				
大豆(種実、ただし、だいち、らっかせいを除く)	—	一年生雑草	耕起7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)	250~500mL/10a	50~100L/10a	1回	雑草茎葉散布	2回以内
は種後出芽前 (雑草生育期:草丈30cm以下)			2回以内					
だいず	—	一年生雑草	畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで	250~500mL/10a	25~50L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
いも類(ばれいしょ、かんしょを除く)			耕起7日以前 (雑草生育期:草丈30cm以下)					25~100L/10a
かんしょ	—	一年生雑草	耕起又はは種前 (雑草生育期:草丈30cm以下)	250~500mL/10a	25~50L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
ばれいしょ			植付後萌芽前 (雑草生育期:草丈30cm以下)					1回
麦類(大麦、小麦(秋播)を除く)	—	一年生雑草	耕起又はは種前(雑草生育期)	250~500mL/10a	25~50L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
小麦(秋播)		多年生イネ科雑草	耕起3日以前(雑草生育期)	500~1000mL/10a	25~100L/10a	1回	雑草茎葉散布	1回
大麦		一年生雑草	耕起又はは種前(雑草生育期)	250~500mL/10a	25~50L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
	圃場内の周縁部	一年生雑草	雑草生育期 但し、 収穫7日前まで(草丈30cm以下)	250~500mL/10a	25~50L/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内

### 登録拡大のお知らせ

2009年3月4日、豆類、野菜類、いも類等について登録が拡大となり、さらに使いやすくなりました。最新の登録内容はホームページでご紹介していますのでご覧ください。

<http://www.syngenta.co.jp/>